

# 平成30年度第2回消費生活eモニターアンケート調査

## 「SDGs、エシカル消費について」

### 目 次

第1章 調査の概要	…P2
1 調査目的	
2 調査方法	
3 調査期間	
4 調査対象	
5 回答者の属性	
第2章 調査結果	…P3

【以下のホームページも是非ご覧下さい。】

◎ 暮らし安全防災局 暮らし安全部消費生活課  
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/r7b/index.html>

## 第1章 調査の概要

### 1 調査目的

SDGs、エシカル消費についてのアンケートを行い、現状の把握、また認知度、理解度向上のため、様々な視点から効果的な方法を探り、今後の消費生活行政の参考とする。

**【SDGs(エスディーゼース)】**…2015年国連サミットで採択された、地球上にあるさまざまな社会課題を2030年までに解決するために定められた17の国際目標

**【エシカル消費】**…人や社会、環境に配慮したものやサービスを選択する消費行動。フェアトレード製品やオーガニック製品など、人や社会、環境への思いやりのある商品を買うこと。

**【フェアトレード】**…開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す貿易のしくみ

### 2 調査方法

ホームページ上でのアンケート調査（全10問）

### 3 調査期間

平成31年2月19日(火)から2月28日(木)まで

### 4 調査対象

消費生活eモニター：310名 回答者：192名

### 5 回答者の属性

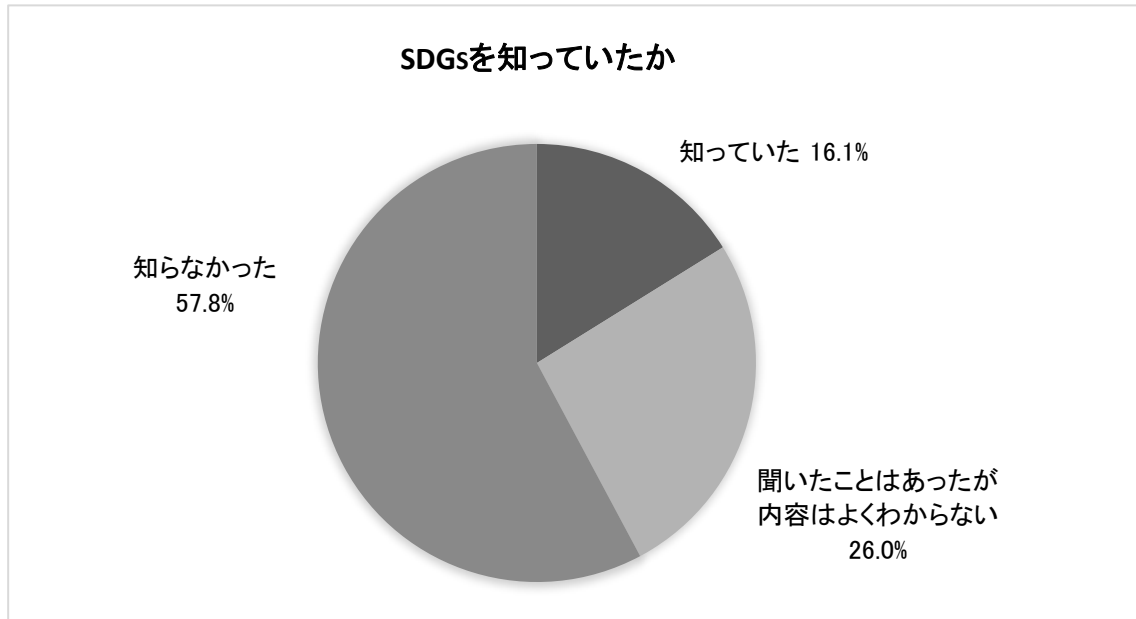
年齢	18～29歳	5名
	30歳代	36名
	40歳代	54名
	50歳代	40名
	60歳代	34名
	70歳以上	22名

※回答者192名のうち、属性不明の方1名を除いた191名の属性としています。

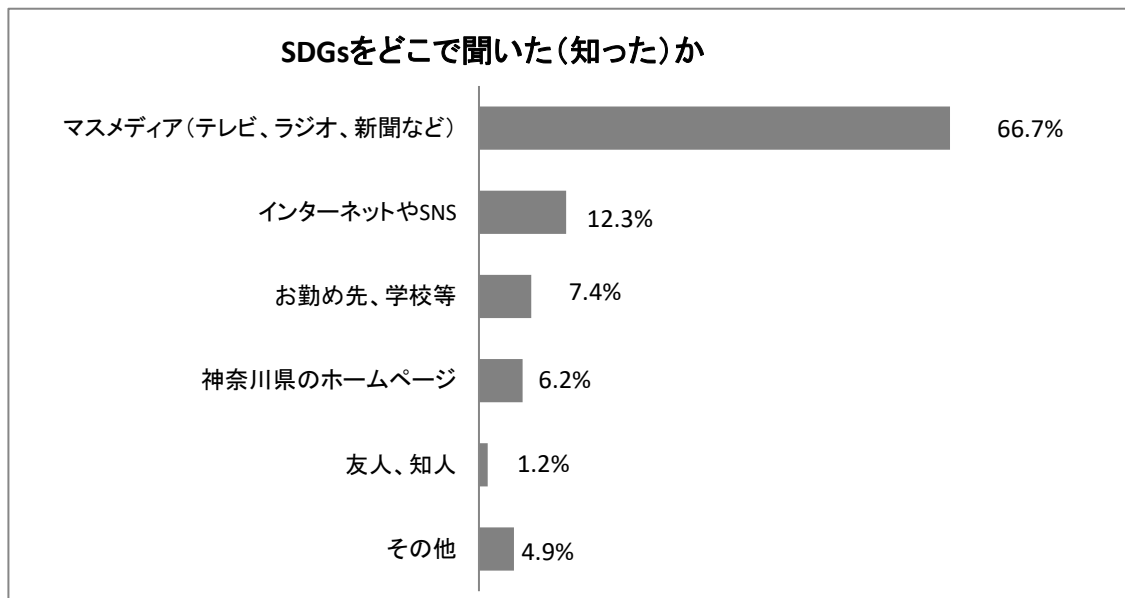
## 第2章 調査結果

- ・複数回答のある設問では、比率の合計が100を超える場合があります。
- ・未回答者がある場合、%の合計が100に満たない場合があります。

Q1 SDGs (持続可能な開発目標)を知っていたかたずねたところ、「知らなかった」が57.8%だった。



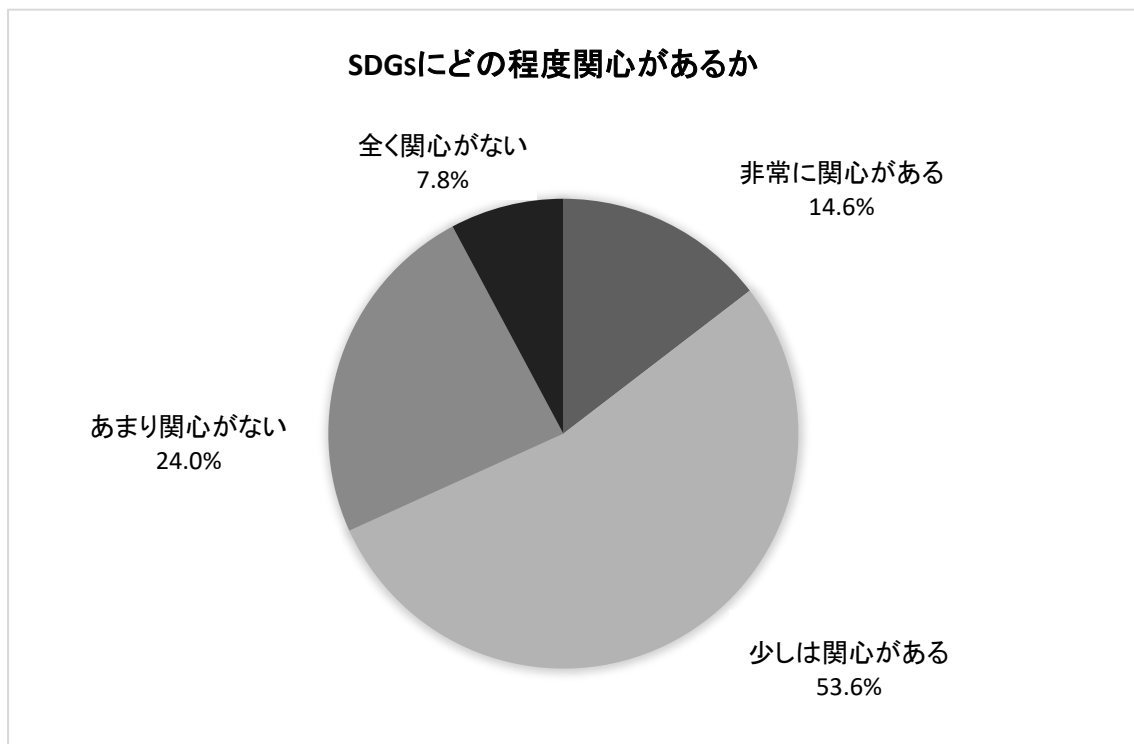
Q2 Q1で「知っていた」「聞いたことはあったが内容はよくわからない」と回答した方に、SDGsをどこで知った(聞いた)かたずねたところ、「マスメディア(テレビ、ラジオ、新聞など)」と回答した方が66.7%だった。



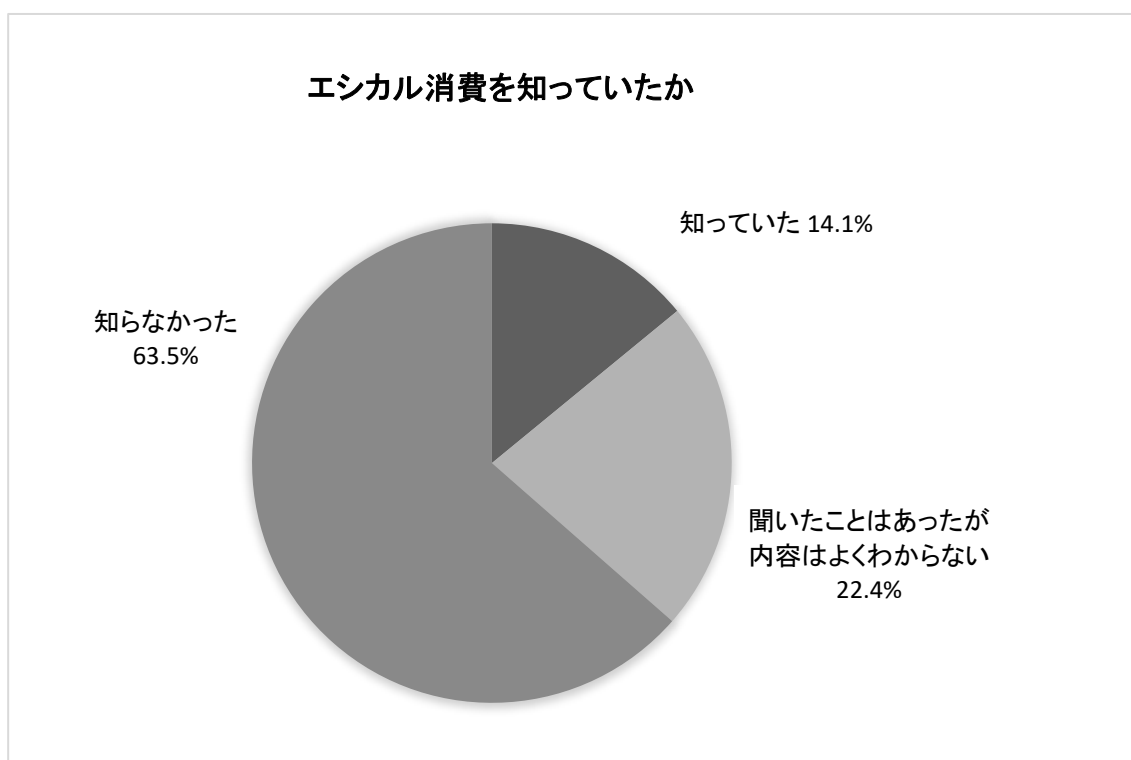
○「その他」の主な回答(抜粋・要約)

- ・講演会
- ・環境省ホームページ

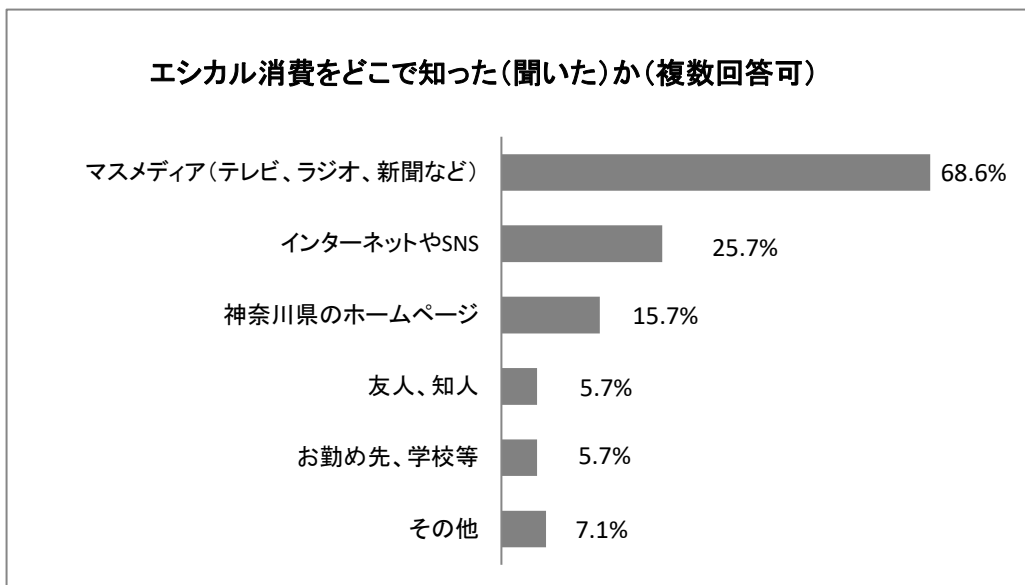
Q3 SDGsにどの程度関心があるかたずねたところ、「非常に関心がある」「少しは関心がある」と回答した方が合わせて68.2%だった。



Q4 「エシカル消費」を知っているかたずねたところ、「知らなかった」が63.5%だった。

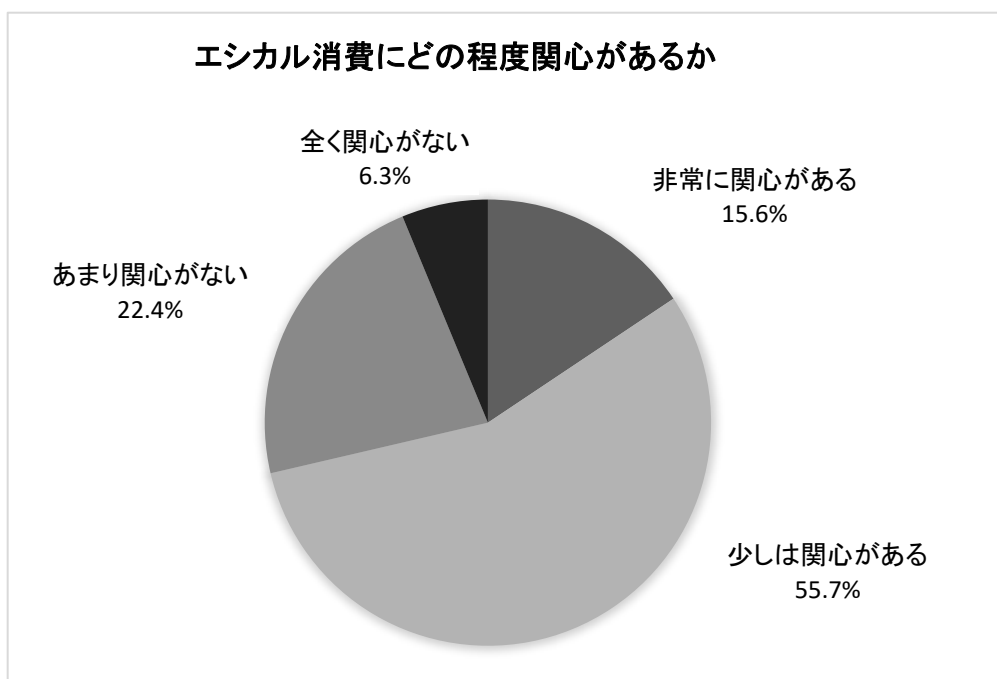


Q5 Q4で「知っていた」「聞いたことはあったが内容はよくわからない」と回答した方に「エシカル消費」をどこで知った(聞いた)かたずねたところ、68.6%の方が「マスメディア(テレビ、ラジオ、新聞など)」と回答し、25.7%の方が「インターネットやSNS」と回答した。(複数回答可)

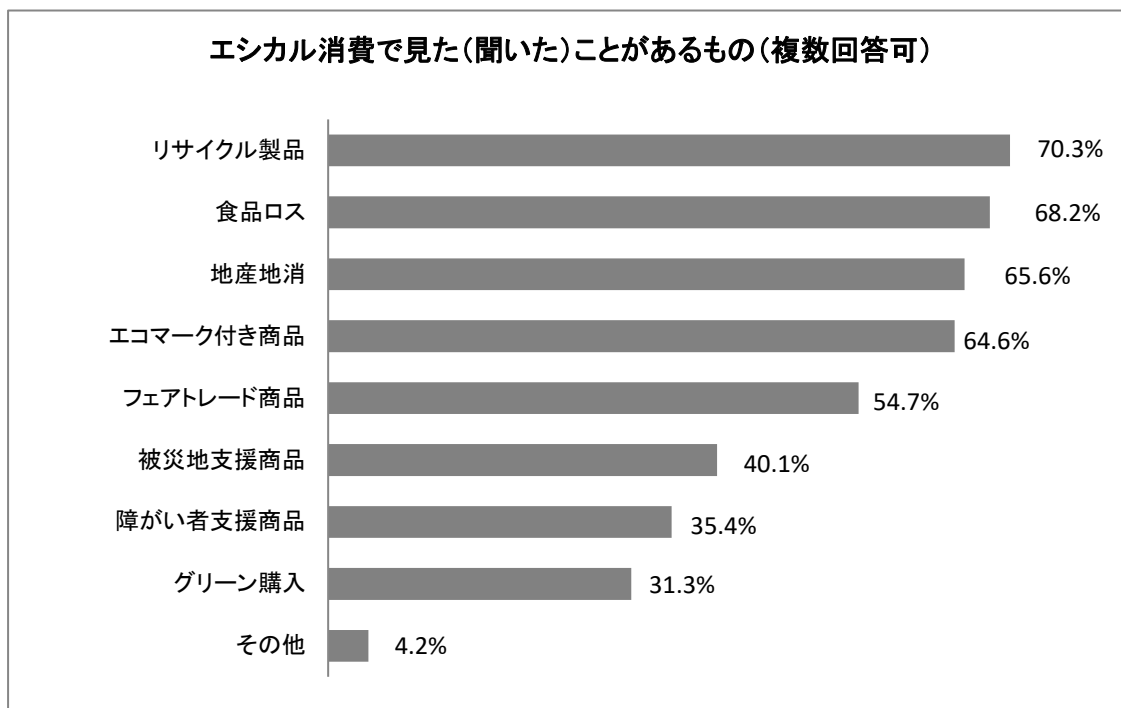


- 「その他」の主な回答(抜粋・要約)
- ・お店でのフェアトレード製品の説明を見た。
  - ・生協の配布物。

Q6 エシカル消費にどの程度関心があるかたずねたところ、「非常に関心がある」「少しは関心がある」と回答した方が合わせて71.3%だった。



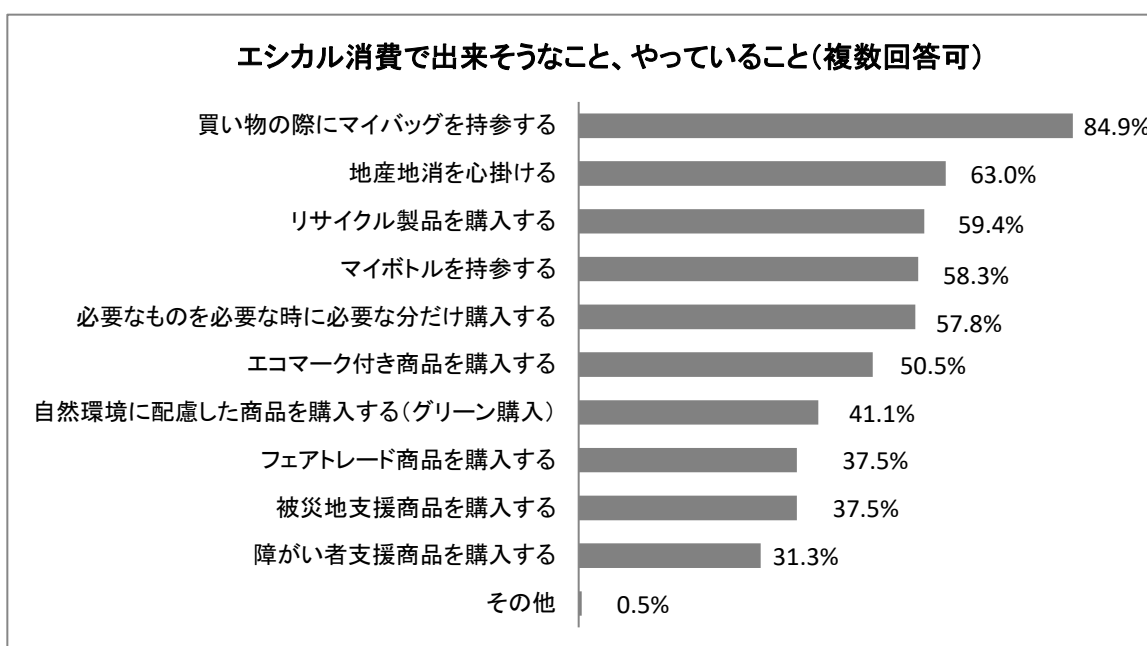
Q7 エシカル消費に関連した言葉や商品で、見たり聞いたりしたことがあるものをたずねたところ、「リサイクル製品」が70.3%で一番多く、次いで「食品ロス」68.2%、「地産地消」65.6%、「エコマーク付き製品」64.6%だった。(複数回答可)



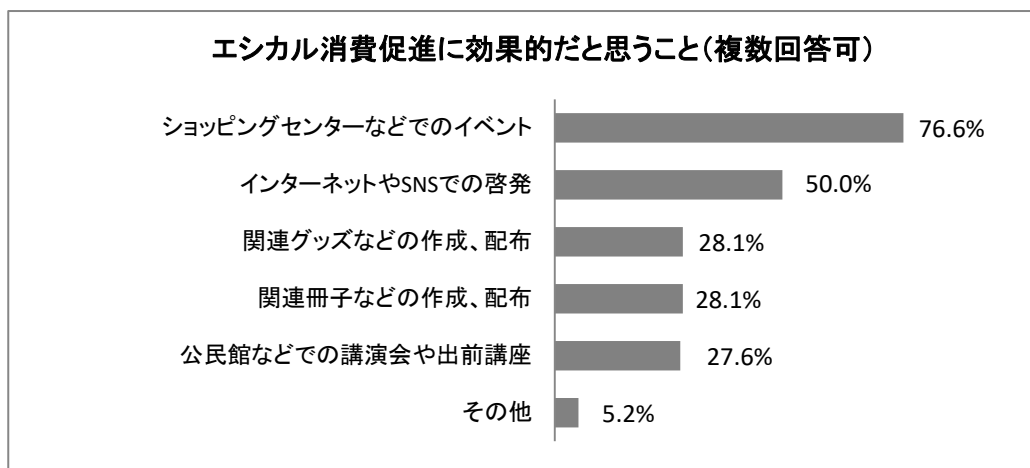
○「その他」の主な回答(抜粋・要約)

- ・ child labor free (児童労働によってつくられていない) 商品

Q8 エシカル消費で出来そうなこと、やっていることをたずねたところ、「買い物の際にマイバッグを持参する」と回答した方が84.9%、次いで「地産地消を心掛ける」63.0%、「リサイクル製品を購入する」が59.4%だった。(複数回答可)



Q9 エシカル消費を促進するために、どのような取り組みが効果的だと思うかたずねたところ、「ショッピングセンターなどでのイベント」と回答した方が76.6%、次いで「インターネットやSNSでの啓発」50.0%だった。(複数回答可)



○「その他」の主な回答(抜粋・要約)

- ・価格を抑える
- ・該当する商品を扱う店舗を増やす
- ・メディア(TVやラジオ等)での紹介

Q10 SDGs、エシカル消費について自由意見をたずねたところ、主な意見は以下のとおりでした。(抜粋・要約)

**【SDGs、エシカル消費全般に関すること】**

- ・当該商品は一般商品に比べると割高感がある。それでも購入したいと思えるように取り組んでほしい。
- ・自分一人でも協力するという力が集まれば大きな力になるので、知ってもらうのが大切だと思う。
- ・地球に優しい、人に優しい消費活動なので、自分に出来ることは今日からでも実行しようと思う。
- ・地域に早く根付くことを願っている。
- ・今後のとても重要な課題だと思う。

**【広報、普及、周知活動に関すること】**

- ・言葉は知らなくても行動が大事で、まずは知ることからだと思うので、街頭やイベントによる活動が効果的と考える。
- ・消費者任せの取組だけでは難しい。国や自治体、企業、消費者など全ての関係者が一体となって取り組むべきだと思う。
- ・リーフレットなどを商業施設など、人が集まる場に置いてほしい。まず詳しく知ることから始めたい。
- ・取り組みについてもっと取り上げる場を持ってほしい。

**【認知度に関すること】**

- ・まだまだ一般に浸透していないと感じる。
- ・SDGs、エシカル消費という言葉が今回初めて知った。
- ・認知向上に努めてほしい。
- ・大切なことだが、認知度が低いと思う。
- ・新聞や情報番組でもっと取り上げてくれれば認知度が上がると思う。

### 【言葉、表記に関すること】

- ・言葉を聞いてそのことを想像できるようなものではない。日本語でわかりやすい言葉で端的に言えるものがある。
- ・ローマ字や英単語をカタカナに置き換えた言葉ではなく、もっとわかりやすい言葉を使ってはどうか。

### 【その他】

- ・今回のアンケートでSDGsとエシカル消費について知ることができたので、今後の生活に役立てたい。
- ・エシカルという言葉は初めて知ったが、今まで自分がやってきたことがそれなのだと気づいた。

### [まとめ]

今回のアンケートを通じ、次のような点がわかりました。

○SDGs、エシカル消費について「知らなかった」と回答した方が共に6割前後で、認知度はまだまだ高い。

○関心度に関してはSDGsが「非常に興味がある」「少しは興味がある」と回答した方が合わせて6割を超え、エシカル消費については7割を超えていた。

○SDGs、エシカル消費共に認知度はまだ高いものの、関心度は一定数あり、エシカル消費に関して「出来そうなこと」「やっていること」では、「買い物の際にマイバッグを持参する」と回答した方が8割を超えていた。次いで5割以上の方が「地産地消を心掛ける」「リサイクル製品を購入する」「マイボトルを持参する」「必要なものを必要な時に必要な分だけ購入する」「エコマーク付き商品を購入する」と回答していた。

○エシカル消費の促進で効果的だと思うことは、ショッピングセンターなどでのイベントと回答した方が7割以上で一番多く、次いで5割の方がインターネットやSNSでの啓発と回答した。

今後、アンケート結果を踏まえ、消費者教育の推進や県民への的確な情報提供などに取り組んでまいります。